

令和7年3月10日

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 〒870-0021 大分市府内町 3-8-11

団体名 一般社団法人大分学研究会

代表者氏名 代表理事 檜本譲司

電話 097-538-9731

担当者名

担当者連絡先

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 交付決定年月日 | 令和6年9月3日 |
| 交付決定番号 | 協働第1650号 |
| 2. 事業名 | 第12回しんけん大分学検定 |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | 106,486 円 |
| 4. 補助金の概算交付額 | 0 円 |
| 5. 補助金の精算額 | 106,486 円 |
| 6. 事業の成果 | |

受験や問題の新聞公開を通じ多くの大分市民が市内の魅力について知ることができた

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	一般社団法人大分学研究会			
事 業 名	第 12 回しんけん大分学検定			
主な活動地域 ※該当する□に チェックしてく ださい。	☒ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過 等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	11 月	大分県水 産会館 大分合同 新聞社 オンライ ン	124 名	大分のことをどれだけ知っているかを問う検 定試験 ① 入門コース（誰でも受験可） ・100問、100点満点、三択もしくは○×式 ② マスターコース（過去の大分学検定で初級 以上の認定者に限定） ・一般問題100問、1問1点、三択・○×・記述 ・スペシャル問題5問、1問4点 ・120点満点 いずれのコースも会場受験とオンライン受験で 実施 受験結果は、別紙のとおり
使用した 広報手段と その効果	☒ ホームページ ☒ チラシ、広報誌 ☒ facebook 等の SNS ☐ その他（具体的に） 広報の効果 ポスター及びチラシを市内の図書館、公民館、書店等に配布することで 市民への認知度が高まった。 併せて、WEB サイトでの情報発信により、若年層への認知度を高めるこ とができた。			
活動目標の報告	会費収入、事業収入や寄付金収入等の自己収益金の拡大、参加市民等の受益対象者の 増加目標に取り組んだ結果、昨年に比べて現役世代（40 歳台）の受験者が増加した。 ただし、受験料収入は全体で減少したことから、来年度は収入アップに努めたい。			
事業の成果	地域への効果について（対象地域にどのような効果があらわれたのかを記入） 受験に先立って身近な魅力について、関係参考書等を通じて事前に学習 することでより深く知ることができた。 中高生については、普通の授業では得られない郷土の歴史や文化につい て知るきっかけとなった。			
	市民への効果について（市民福祉の向上にどうつながったのかを記入） 転勤族として新たに大分市民となった人たちが企業単位で受験するこ とで大分に対する親しみを深め、転出後も大分ファンとなり続けるきっ かけとなった。 高齢者にとっては、検定にチャレンジすることで活力や知識力・記憶力 の維持に大いに役立ち、健康寿命の増進に役立った。			
来 年 度 に 向 け た 課 題	市内の公民館等での出前受験を可能にしたものの希望がなかったことから、市 内の公民館と連携を深めより身近な公民館等で受験できるようにすることで 受験者を拡大することが必要である。 市内の中高生の受験生がまだ少なかったことから、教育委員会と連携して中学 校等への働きかける強めることが必要である。 過去の検定受験者を対象とした「マスターコース」の受験者が期待より少な かったことから、過去の受験者への働きかけを強める必要がある。			

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

50

事業名： 第12回しんけん大分学検定

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	106,486	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会 費 収 入		
事 業 収 入	211,500	受験料 (入門一般：40名 80,000円、入門団体：14名 21,000円、入門学生：2名 2,000円、入門学生団体：17名 8,500円、マスター一般：26名 78,000円、マスター中級：11名 22,000円)
寄附金収入	150,000	協賛金
そ の 他	35,733	主催者分担金
合 計	503,719	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費	153,000	検定問題作成謝金 (12名) 98,000円 検定当日有償ボランティア謝金 (7名) 20,000円 答案採点謝金 (7名) 35,000円
旅 費	8,960	検定当日スタッフ交通費 8,960円
消 耗 品 費	1,369	温泉問題。飲料問題紙容器 1,369円
印刷製本費	285,285	ポスター・検定案内リーフレット制作費 168,520円 検定問題 (入門コース・マスターコース) 52,360円 受験票 (入門コース・マスターコース) 26,400円 認定書・表彰状等 38,005円【対象外】 (うち補助対象外経費 38,005円)
保 険 料	5,000	大分県知事賞竹トロフィー保険料
手数料・委託費	28,105	専用WEBサイト管理運営委託費 27,500円 振込手数料 3件 605円
使用料・賃借料	22,000	検定会場 (大分県水産会館) 使用料 22,000円
合 計	503,719	(うち補助対象経費 465,714円)

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。